

令和6年度 江戸川区立東小松川小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	ひがこまっちは みんななかよし 夢がある ○思いやりのある子 ○考える子 ○やりぬく子 ○じょうぶな子	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・子供の主体的な学習力を高められる学校 ・教職員が子供の目指すべき社会人であり、教育者である学校 ・地域・保護者すべての人と人とのつながりを大切にする学校
前年度までの本校の現状	成果	課題	制限ある仮校舎・新校舎生活での安全・安心な学校生活の維持と各種の教育活動の保証。新校舎での新たな生活様式の確立。学習到達度調査等を活用し、さらに充実した創意・工夫した教育活動と学力向上の実施とタブレットによるオンライン学習や公開の更なる効果的な実施。縄跳び運動を中心とした体力の維持・向上。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価(A～D)		「年度末」学校関係者評価(A～D)		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による取組の実施・充実 ○本校の取組 ・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「区学力定着度調査」等による定着度の分析と課題の克服 ・よむYOMUワークや読解プリントによる読解力の向上 ・教科担任制の導入 ・一人一台端末を活用した個別最適な学びの実現 ・東京ベーシックドリルの活用	・教員相互の授業観察と改善 ・補習学習の実施 ・都学力調査、区学力定着度調査、東京ベーシックドリルの活用と分析、改善策の実施 ・第5・6学年の教科担任制、学年学級間の担任単元交換指導の実施 ・定期的なよむYOMUワークや読解プリントの実施による読解力の向上 ・タブレット等のICT機器の効果的な学習活用と教員研修の実施	教職員評価アンケート達成 90%以上	B	B	B	・教員アンケートでは、ほとんど全ての項目で8割を超える達成率だが、「漢字・計算習熟度8割5分以上の児童が9割以上」と「習熟度8割未満の児童の習熟度2割アップ」が未達成で課題が残った。	A	・仮校舎でしたが、先生方はかなり努力されていました。 ・高学年での高い学習効果の数値 ・ベーシックドリルの活用による学力向上に努めている。また、高学年においては、学年担任の先生が、クラスの垣根を越えて幅広く指導にあたっては、効果的である。 ・全体的に70%前後で、項目によってはそれ以上の達成率で素晴らしいと思います。	B	・都学力調査、区学力定着度調査、東京ベーシック等では着実な伸びが見られた。特に国語は、よむYOMUワークや読解プリント等の効果かと平均を超えた。算数も伸びてはいるが、都平均までわずかである。 ・第5・6学年の教科担任制、学年学級間の担任単元交換指導の実施で児童理解が深まった。	B	・保護者アンケートの結果も評価が高く、努力されている。 ・都平均以上になるようお願いします。 ・プログラミングの思考、指導を工夫していく必要がある。 ・タブレットの活用を工夫する。 ・東京ベーシック等の取り組みにより、着実に成果が上がっている。	・平素の学習記録の蓄積と収受度の分析記録、都学力調査、区学力定着度調査、東京ベーシック等の分析から課題克服を推進する。 ・EDOすくと平素の学習との連携を密に図り、活用して学力向上する。
	・読書科の充実	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 ○本校の取組 ・（読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等） ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実 ・区立図書館との連携	教職員評価アンケート達成 80%以上 児童・保護者評価アンケート達成 80%以上	B	A	B	・タブレット等のICT機器に探究の方法が多く、読書本来の面白さを引き続き訴えていきたい。	B	・最近の傾向の通り、読書については、達成率が低いようなので、力を入れていくことが大切だと思います。 ・読み聞かせ等による積極的な取り組みが見られる。 ・高学年では読書に進んで取り組む部分が少し課題がある。	A	・バーコード化が実施され、図書管理が進んだ。 ・新校舎での図書館で整備と利用が活発になった。	A	・教科書の問題があるが、タブレット利用について検討してほしい。 ・新校舎では図書と活字を多く見えています。 ・バーコード化の実態、読み聞かせの継続努力により、利用も活発になった。	・バーコード化が実施され、図書管理が楽になった。新校舎の快適な環境から利用も活発になり、タブレットとの使い分けを図りながら、探究活動の充実と読書の楽しさを味わわせる。
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ○本校の取組 「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・充実 ・休み時間を活用した「運動遊び」の全校指導 ・体育科指導の充実（限りある活動場所内で） ・縄跳び運動を活用した体力の向上	・体力向上のためのウッキウキタイムの実施 ・近隣スポーツ公園、公園を活用した体育学習や休み時間の運動遊び ・体育学習の指導改善 ・近隣校との連携での体育的活動や行事開催 ・縄跳び運動の奨励（奨励動画・学習カード）	教職員評価アンケート達成 80%以上 児童・保護者評価アンケート達成 80%以上	B	B	B	・校庭が使用できない分、校舎内スペースを活用して運動能力向上機会としている。先生方は、体育指導をはじめ、様々な工夫と苦勞をしているが、体力維持が現状である。	B	・子供たちは元気がよいが、改築の関係で運動場が利用出来ないのはかわいそう。 ・近隣のスポーツ公園で充実を感じる。 ・外では遊べていないが、体育が好きという子供が多い。 ・校庭が使用できない中、創意工夫をされて体力向上の取り組みをされている。 ・校庭がないので指導が厳しい。	B	・校庭が使用できない分、新校舎内スペースを活用して運動能力向上機会とした。先生方は、体育指導をはじめ、様々な工夫と苦勞をしているが、体力維持が引き続き必要である。	B	・6月末の校庭工事が終わり、利用できることを切に願っている。 ・校庭が無いのは非常に厳しい。 ・体力の向上に期待します。スポーツ公園グラウンドでのがんばりを見ています。 ・校庭が使えないために今後も創意工夫が必要。 ・校庭が使用できていないが、先生方の創意工夫により体力向上の取り組みがされている。	・6月の校庭完成に伴い、生活時程を変更した。少しでも体を動かす機会・時間を確保して、体力向上を図る。
教育の推進 共生社会の実現に向けた	<特別支援教育の推進> ○本校の取組 個々の特性に応じた指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・配慮を要する児童等の自立に向けた支援の家庭や関係諸機関との連携 ・復籍交流児童との直接・間接交流の実施 ・ひがこまルーム、多目的室等のエンカレッジルームの活用促進	教職員評価アンケート達成 90%以上	A	A	A	・保護者や関係機関と連携して、多様な困り感をもつ子供たちに、最適と思える学びと受け入れを展開できている。	A	・様々なお子様に配慮しながら、特性に合わせた指導をされている。 ・難しい問題もありますが、大切な項目なので地道に対応をおこなっていただきたい。	A	・保護者や関係機関と連携して、多様な困り感をもつ子供たちに、最適と思える学びと受け入れを展開できている。 ・復籍交流も計画通り実施した。	A	・子供たちに合わせた対応をされている。 ・個に応じた対応が丁寧に行われている。	・今後も保護者や関係機関と連携して、多様な困り感をもつ子供たちに、最適と思える学びと受け入れを展開する。

め不登校の対応に 充実	<p><子どもたちの健全育成に向けた取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hupaer-QUの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「江戸川っ子・家庭ルール」「ひがこまスタイル」の推進・定着（ハイパーQUテストの活用） ・関係諸機関との協力・連携 	児童・保護者評価アンケート 達成 90%以上	A	A	A	・今後も自己肯定感を高めて、より広く深い友好関係を築けるようにしたい。	A	・いじめ対応などしっかりと対応している。	A	・今後も自己肯定感を高めて、より広く深い友好関係を築けるようにする。	A	・先生方の指導の成果か、思いやりのある子が増えているように感じる。	・年度途中で設置した、切り替えスイッチやふわふわカードポストは一定の効果が発揮しと考える。今後も自己肯定感を高めて、より広く深い友好関係を築けるようにする。
学校（園）の地域社会に開かれた実現	<p><自校（園）の取組の積極的な発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校（園）ホームページの充実等 ・学校（園）公開の実施・充実 	<p>学校HPの定期的で教育的なトピックに応じた情報提供を随時発信し続ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の取り組みの紹介 ・PTAページの新設 ・学校公開・行事の参加方法を仮校舎・新校舎に応じた方法でweb形式等工夫して実施する。（昨年より公開日を増加した） 	保護者評価アンケート 達成 80%以上	A	A	A	・今後もHPをはじめ、情報発信に努めていく。テトルでは、諸連絡では有効だが、調査回収率が高まらない。	B	・学校HPを更新され、しっかり情報提供がされている。 ・コロナ後の動きをこれからお願いいたします。 ・HPの情報提供、テトルの活用ができています。	A	・保護者評価では、数値目標を達成しているが、今後もHPをはじめ、情報発信に努めていく。テトルでは、諸連絡では有効だが、調査回収率が高まらない。	A	・HPやテトル等で情報提供がしっかりと行われている。 ・HPの活用をもっと行うことができると良いと思う。 ・テトルでの回収率をあげたい。	今後もHPをはじめ、情報発信に努めていく。
教育の特色ある展開	<p><学校関係者評価の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・教師・地域、保護者の3者からの学校関係者評価を年2回実施、分析、公表（保護者分） ・学校公開や各種行事でのアンケート実施と分析、改善 	児童・教師・保護者評価アンケート 回収率達成 80%以上	A	B	A	・3者からのアンケートを有効に活用している。	A	・細部までアンケート結果が分析されている。 ・いろいろな意見を聞くことは大切だと思います。	B	・3者からのアンケートを有効に活用している。項目により評価に違いが見られる。P回収率を高めてより有効な指標にしていく。	A	・保護者アンケートの回収率を上げたいが、アンケート自体は丁寧な項目立てで有効である。	・3者からのアンケートをより有効に活用するために評価項目の精査を図る。
	<p><地域の教育力を生かした教育活動></p> <p>地域の特色や人材資源を生かし、生活・総合的な学習を中心とした探究・体験活動の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・蓮田学習や地域産業を中心とした体験的学習の実施 ・地域材を生かした学習活動の新たな開発 ・区グリーンプラン推進校として、特色の蓮田栽培等を中心とした体験・探究活動と環境教育 	児童・教職員評価アンケート達成 90%以上	A	A	A	・蓮田に限らず、工場や花火、福祉施設、モーターボート場等地域の教材化が進んでいる。	A	・地域の方々と連携しながら、蓮田学習を根付かせて。 ・季節性を重視した対応をこれからもお願いします。 ・蓮田での地域交流ができています。	A	・蓮田に限らず、工場や花火、福祉施設、モーターボート場等地域の教材化を図ることができた。	A	・蓮田を中心とした地域連携ができています。 ・蓮田での地域交流がよく行われている。	・蓮田を中心に、工場等地域資源のさらなる開発と教材化を図る。
	<p><SDGS教育の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育と外国語活動の充実 ・横断的な健康・食育指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都国際交流コンシェルジュ指定校として、外国語学習を活用した諸外国校や在日大使館との交流や国際理解教育活動 ・家庭科学習と給食調理が連携したSDGS思考と自己実現活動 	児童・教師評価アンケート達成 80%以上	B	A	A	外国語・大使館交流やSDGS関係の取り組みが2学期以降なので期待する。	B	・左記のような取り組みにより、外国語が好きになっている子供が増えている。	A	外国語・大使館交流やSDGS関係の取り組みが実施され、大きな特色となっている。	A	・外国語が好きな子供が増えている。 ・子供が外国語を話すのをよく耳にします。	・自他を尊重し、表現豊かでグローバルな視点を養い、世界で通用する人材の育成に努める。